



まつもと医療センター広報誌

Vol. 44 2021.10

コキア 食欲の秋（職員）さん撮影

◆ 目次

2p 第90回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会・
第68回日本消化器病学会甲信越支部例会を終えて

4p 薬剤師に聞いた!! 抗体カクテル療法とは

6p 才教学園でコロナウイルス感染症講演、
松本医療センターで消防訓練

7p 実はおいしい深海魚「メルルーサ」

8p 新しい装置導入のお知らせ
～治療計画用CT装置が新しくなりました～

9p 医療法人 松田内科医院紹介

10p 部門トピックス リハビリテーション科・
わたしの趣味ートライアスロンー編集後記

理念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切にし、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院運営を行います
8. 職員ひとりひとりが誇りを持ち、働きがいのある病院をめざします

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利



第90回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会・ 第68回日本消化器病学会甲信越支部例会を終えて

みやばやし ひで はる
消化器内科 宮林 秀晴

本年6月12日(土)に当院 統括診療部 古田 清が会長で第68回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会、翌6月13日(日)に消化器内科 宮林秀晴が会長で第90回消化器内視鏡学会甲信越支部例会が開催されました。

学会会長に指名されたのは3年前の支部例会学会直後で、浮かれていただけでしたが、実際動き始めたのは昨年2020年10月ごろから。当時新型コロナウイルス感染第2波の影響が静まった頃でした。その影響で前年度2020年度の春の学会はCovid-19の影響で中止、同年秋の支部例会は朱鷺メッセでのハイブリッド開催という前例のない支部例会となっていました。今回の学会は2021年6月第2週の開催・長野県松本市内までは決まっていた。当初信州大学医学部附属病院の外来棟会議室で無料の会場費で考えていて予算を立てていました。しかし、昨年10月の段階で、信州大学の会場では学外の参加者に対する感染対策とWeb開催が6月の開催でも難しいと我々の出身医局である第二内科から指摘もあって断念し(1年以内に会場を変えることはあまりなかったのですが)、第二内科とご縁のあるホテルブエナビスタ(以下学会会場)に聞いてみたところWeb開催で引き受けていただけるとのこと、渡りに船ということで乗っかってみることにになりました。

古田先生は実際に朱鷺メッセまで見に行ってきたこともあり、早々とWeb開催ということを決めていましたが、10月に内科学会甲信越支部地方会が口演形式でできたこと、自分でみても集中することのできないWeb形式より、内視鏡学会は質問と応答が飛び交う学会の緊張感から、あくまでも口演形式、できなければハイブリッド形式にこだわって開催したいと思っていました。ただし学会場に見積もりを出してもらったところ、ハイブリッド開催は目が飛び出るぐらいの金額。一瞬でもろみが吹っ飛んでしまいました。そこで起こったのが年末年始あたりの第3波です。ワクチンの接種も遅れに遅れ、2月までに医療関係者は接種終了し、高齢者接種も進むとの当初の政府見解も不可能となり2021年1月の時点で口演形式は断念し、両学会ともWebでということになりました。



支部例会会長古田先生

その後1月は演題登録でUMIN本部とのやりとりの激闘、2月は演題募集でギリギリになってしまい、消化器病学会は2月中に演題募集のホームページ掲載ができましたが、それに比べて内視鏡学会はUMINの登録が遅れたため、演題募集が遅れ、演題募集のはがきと同時に3月上旬に学会支部の評議員への直接のメール送付(Bccにせずに送ってしまいました)という失敗を犯してしまい、支部長からはえらく怒られました。常に古田会長は先に先に行っており、私は常におんぶに抱っこだった感じがあります。

3月・4月は主題のシンポジウム「チーム医療で育む安全な医療と感染症対策」・合同シンポジウム2の「併存する疾患のあることが多い高齢者における上部消化管疾患のマネージメント」に演題が集まらず、古田先生と演題収集に四苦八苦しました。シンポジウムに関しては長岡中央総合病院小林先生・佐久医療センター山田先生の2題、高齢者の合同シンポジウムという名の単独口演を新潟大学上村先生の演題で発表をお願いしました。結果的にこのシンポジウムは県立木曽病院濱野院長と佐久医療センター比佐先生の座長の名司会によりかなり面白いシンポジウムになりました。持つべきものはできのよい後輩であると考えさせられました。

当方の4月・5月の連休は学会演題のまとめと、学会場への提出にて消費されてしまい、今年はいつ始まっていつ終わったか分からないようなゴールデンウィークでした。

5月は学会抄録の手直しに手間取って、結局抄録集の配送がギリギリ2週間前、その後も続々と参加登録があったため、学会係の担当長谷川さんが次々に郵送しなければならないと、愚痴をさんざんこぼしていました。今回はWeb配信でしたので、演題をビデオファイルで前もって送ってもらったため、そのファイルが読めないなどの苦情や整理・企業の広告ファイルが届かないとかいろいろに明け暮れ、学会の日を迎えました。

学会開催中も締め切ったはずの参加登録が続々と入り、学会場の事務局は担当1人で行っていたためパニックであったそうです。6月12日一昨年までの賑やかな学会受付はなく、Web講演特有の静寂とスクリーンに映された古田会長の挨拶で学会が始まり、午前中の英語セッション・合同シンポジウム、午後の教育セミナー・教育講演（公演後に小テストあり）がトラブルなく進み、あっという間に夕方の終了時間になりました。翌日に自分の学会を控えて、古田会長はほとんど終えて（実は一般演題がオンデマンドになったため質問受けなどこれからが大変であったようです）いいな、と思っていました。PCを見ている限りは普通の学会と同様の感がありました。

翌日私の本番の日は寝坊もせず（夢にまで見ましたが…）6:30から学会場に出向き、内視鏡学会は偉い人たちの幹事会に参加して挨拶、その後9時から5分ほど最初の挨拶がせつかく終わったのに放映されなかったため2回行った私の会長挨拶から内視鏡学会が始まり、研修医・専修医の一般演題セッションとオブザーバーとの討議・ランチョンセミナーの滋賀医大安藤朗先生の講演（これがまたなかなか安藤先生とつながらずあたふたしました）・午後の合同ワークショップ2[セッション「消化器疾患のトラブルシューティング」「高齢者の消化器疾患のマネージメント」など滞りなく進み、私の方の学会もあれほど苦労したのにあっという間に終了してしまいました。学会というのは普段の積み重ねが長く、光の当たる本番が短いオリンピックの選手のようにだと自画自賛して学会本番を終えました。学会の会長職というのはお金が儲かるわけではなく（今回はWeb開催のため、幸い当方の内視鏡学会においては参加者が330名で黒字となりましたが、余ったお金は全部甲信越支部本部に納付します）、本当に内視鏡学会甲信越支部の中の名譽職だけなのだなど実感しました。今回後手後手の私を、常に先導していただき、お互いに励まし合った古田会長に感謝いたします。



支部例会宮林会長あいさつ



薬剤師に
聞いた!!

抗体カクテル療法とは

薬剤部 おか だ よし のり
岡田 義教

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に使用される「抗体カクテル療法」。令和3年7月に特例承認された点滴薬「ロナプリーブ点滴静注セット」が用いられています。初の軽症者・中等症者向けのお薬で、重症化を防ぎ、ベッド回転率を上げることにより、ひっ迫する医療体制を救う切り札として期待されています。当院薬剤師に抗体カクテル療法について聞いてみました！



抗体カクテル療法の「抗体」って何？



抗体とは

抗体は体外から侵入した異物を攻撃する“免疫系”という身体の働きによって作り出されますが、人工的に作られた抗体を利用し医薬品に応用する「抗体医薬品」がすでにがんや関節リウマチなどの治療薬として実用化されています。狙った細胞だけに結合するため、副作用を抑えて高い治療効果が得られるとされています。



実際どんな治療なの？

カクテルみたいにシェイクして調合するの？

抗体カクテル療法

抗体カクテル療法は、2種類の抗体(カシリビマブ・イムデビマブ)を混ぜて投与する治療法です。2種類の抗体を同時に投与することにより、ウイルスの細胞への侵入を阻止し、増殖を抑えることを目的としています。

調合にかんしては、専用の冷蔵庫のようなものに保管するのですが、使用するときには室温に戻してから調合する必要があるため、少し時間がかかります。

また一つの瓶で2回分となっているので、常温に一度戻してから48時間以内でないともう半分は使うことができなくなってしまうのですが、患者さんに薬剤の効き目が最大限発揮できるように薬の管理をしています。

カクテルみたいにシェイクしないです・・・





新しいお薬だから副作用もこわいなあ・・・

副作用は

まれに、アナフィラキシーを含む重いアレルギー反応が起こることがあります。主な症状としては、じんましん、そう痒、紅潮、嘔気・嘔吐、下痢、呼吸困難、喘鳴、めまい、血圧低下、意識消失などがあります。

その他、主な副作用として、発熱、酸素飽和度低下、悪寒、不整脈、胸痛、胸部不快感、脱力感、頭痛、気管支痙攣、咽頭炎、筋痛などがあげられます。

しかし、当院の使用例では報告するべき副作用は起きていません。



効果があるお薬なら患者さんみんなに打てばいいよね！

投与の対象となる患者さんが決まっています。

- 発症から7日以内
- 酸素投与を要しない(酸素投与が必要な重い中等症や重症の場合、悪化の可能性あり)
- 以下の重症化リスク因子を少なくとも一つ有する
- 50歳以上・肥満(BMI30kg/m²以上)・心血管疾患(高血圧を含む)・慢性肺疾患(喘息を含む)・1型又は2型糖尿病・慢性腎障害(透析患者を含む)・慢性肝疾患・免疫抑制状態(治験責任医師等の判断による。例：悪性腫瘍治療、骨髄又は臓器移植、免疫不全、コントロール不良のHIV、AIDS、鎌状赤血球貧血、サラセミア、免疫抑制剤の長期投与)

これらの条件を満たす患者さんが対象となります。



薬剤師にカクテル療法について聞いてみました。

いろいろと制度面や適応となる条件で制約はありますが、新型コロナウイルスの重症化を防ぐ重要な治療法の一つであることがわかりました。外来での投与をする病院も今後増えてくることが予想され、ますます身近な治療法になりそうですね。



お知らせ

才教学園でコロナウイルス感染症講演、松本医療センターで消防訓練

才教学園で新型コロナウイルス感染症に関する講演を行いました。

才教学園 LIVE先達 講師
 国立病院機構まつもと医療センター
 医師・院長 小池 祥一郎
 感染管理認定看護師 今西 みずほ



コロナ奮闘 医療者招く
 才教学園 働く尊さ学ぶ

松本市井町北の 禍で「情報分析が一番
 才教学園小中学校は「大事」と指摘した。今
 日、新型コロナウイルス 西さんはコロナ患者の
 ス感染症への対応で奮 ストレス軽減に努めた
 闘する医療従事者を招 ことや、患者の変化の
 いた講演会が開かれ 有無をしっかり観察し
 た。即立病院機構まつもと医療センターの
 もと医療センターの 地域で活躍する人を
 地帯一部院長と感染予 招き、働く尊さを学
 防業務を専門に行な 授業で中学生103人
 看護師の今西みずほさん を対象に行われた。3
 が登壇した。 年生の坪根龍樹君
 小池院長は、院内感 小池院長は、院内感
 染の予防や医療従事者 の苦労に触れて「医療
 のワゴン」探検など、 従事者の方々に感謝し
 まつもと医療センター て生活したい」と話し
 の取り組みを説明し、 ていた。
 初めて経験するコロナ (土屋智彦)



新型コロナウイルス感染症への対応を説明した講演

信濃毎日新聞にも掲載されました。(2021.7.15)

「東6病棟が火事です！」

9月3日、**消防訓練**が行われました。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から消防署の立ち会いは無しとなりましたが、緊張感のある訓練ができました。

消火班、誘導班、他にもたくさんの役割があり、それぞれが責任を持って役割を果たさなければ患者さんを安全に避難させることができません。いざというときにしっかり行動できるように今回の訓練でそれぞれが役割を確認できた貴重な機会となりました。



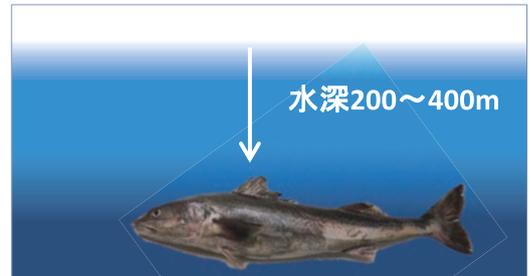
実はおいしい深海魚「メルルーサ」

栄養士 あき やま 秋山 あい り 藍里

学校や病院など給食のメニューで時々耳にする「メルルーサ」という名前。
みなさんはどんな魚か知っていますか？

メルルーサとは

タラ目メルルーサ科である10種類ほどの魚の総称で、南米やアフリカ、ニュージーランドの沿岸で獲れる深海魚です。口は大きくとがっており、身体は細長いひし形をしています。大きいものだと全長1mを超えることも。スペインを中心にヨーロッパでは日常的に食べられています。日本では名前にあまり馴染みがありませんが、実は白身魚として幅広く使用されています。



どんな味？おすすめレシピ

白身魚であるため淡白な味でタラに似ています。骨が少ないのでお子さんでも食べやすいという特徴も。フライやムニエルはもちろん、炒め物や鍋など幅広くおいしくいただけます。

★メルルーサのマヨネーズマスタード焼き★

材料(1人前)

| | |
|--------|------|
| メルルーサ | 1切れ |
| コショウ | 少々 |
| 片栗粉 | 3.0g |
| サラダ油 | 2.0g |
| 白ワイン | 1.5g |
| 生姜 | 少々 |
| ★マヨネーズ | 8.0g |
| ★マスタード | 6.0g |
| レモン果汁 | 少々 |

作り方

- ①メルルーサにコショウをふり、片栗粉をまぶす
- ②油をひいたフライパンで焼く
- ③火が通ったら★をすべて加えて焼き、白ワインのアルコールがとんだらできあがり

袋などにメルルーサと調味料すべてを入れて漬けておき、グリルで焼くと簡単でおすすめです



パプリカ、ズッキーニなどお好みの野菜を添えて♪

食べるといいことたくさん

○ダイエットに最適

1切れ(100g)あたり77kcalと低カロリーにもかかわらずタンパク質が豊富です。脂質も少ないため体重や脂質が気になる方にぴったりです。

○美容に良い♪豊富なビタミン

肌の健康を助けるビタミンB2やビタミンB6、ナイアシンだけでなく、老化を防ぐ抗酸化ビタミンのビタミンEも含まれています。

○ミネラルで健康促進

貧血予防に重要な鉄、高血圧を防ぐカリウムが含まれています。また骨や歯をつくるのに必須であるカルシウムが豊富です。

高級魚のキンメダイやクロムツ、秋が旬の太刀魚なども実は深海魚の仲間です。見た目はちょっと怖いですが中身は私たちの身体にとってとても優しいお魚ばかりです。種類や特徴を知っていくとお魚選びがもっと楽しくなりますよ♪



新しい装置導入のお知らせ

～治療計画用CT装置が新しくなりました～



当院では、さらなる高精度の放射線治療が行えるように最新型の治療計画用CT装置を導入いたしました。

これまでは対応が難しかった呼吸同期下での治療計画が可能となり、患者様により適切な精密かつ高精度の放射線治療が提供できます。

また、通常診療用としても使用でき、1度の短い息止めで広範囲を低被ばく線量で撮影できるだけでなく、大きな口径により圧迫感が少なく安心して検査がおこなえるなど、患者様に負担の少ない検査を実施できるようになりました。



■最新の放射線治療に対応

呼吸同期下での**精密かつ高精度**の放射線治療が可能となり、適切かつ多くの治療方法の選択が可能になりました

■低被ばく・高画質撮影

最先端のノイズ低減処理により**高画質化**(最小0.625mm)と**低被ばく線量化**が実現できます

■80cmの大開口径

80cmの**大開口径**のため圧迫感が少なく、**安心して**検査を受けていただけます

独立行政法人国立病院機構 まつもと医療センター

医療法人 松田内科医院紹介



まつだ くにあき
松田 国昭 先生



診療科目：◆内科 ◆消化器内科 ◆小児科
所在地：〒399-0039 長野県松本市小屋北1-15-33
休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日
お問い合わせ：TEL 0263-86-0333 FAX 0263-86-0334
<診療時間>

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 (8:30~12:00) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — |
| 午後 (15:00~17:30) | ● | ● | ● | — | ● | — | — |

※保険証をお持ちの上、ご来院ください。

今日もまつもと医療センターより3通のお便りをいただいた。循環器内科、総合診療科、消化器内科へと紹介した患者さんについてのご報告であった。早速簡単な礼状をしたためた。

貴病院にはこの数十年間に多くの患者さんがお世話になり、入院、あるいは検査をしていただきました。お返事を必ずいただき時には入院後の途中経過をご報告くださり只々感謝です。益々信頼される病院となつてうれしい限りです。

当院は昭和54年1月に開院しました。現在は43年目、朝8時30分診療開始、午後5時30分ごろ終了。事務2名、看護師3名（1人はパート）の態勢。当初は色々と気負いもありましたが数年のみで、あとは淡々とした診療が続いています。

この間何回も入院生活をしました。大腸憩室炎にはじまり網膜剥離、冠動脈バイパス術、胃切除、尋常性乾癬にてバイオ製剤の注射開始、腹部大動脈瘤へのステント術などなど・・・。

病氣自慢になってしまいました。友人、大学医局、そして貴病院（愚息がお世話になっていました）に大変なご助力をいただき、入院による医院の休診は一日もなかったことは実に幸運でした。

体もだいぶ傷んでいるものの趣味のゴルフと音楽鑑賞は相変わらず続けております。とは申せ、年齢82歳3か月の“老人”です。そろそろバトンタッチを考えている今日この頃です。

部門トピックス

リハビリテーション科



リハビリテーション科 運動療法主任 伊藤 克彦

まつもと医療センターでは、今年の4月から心臓リハビリテーション外来を開始しました。心臓リハビリテーション外来の目的は、心臓疾患で入院後に低下した体力を運動療法で回復させるだけでなく、適切な運動習慣を身につけ、再入院予防に繋げることです。運動療法には、体力回復効果や心臓疾患の危険因子を改善させる効果があります。

心臓リハビリテーション外来は、毎週木曜日の午後2時から週一回行っています。期間は最大で5か月間です。対象者には血圧手帳を配布し、毎日記入していただきます。来院の際には血圧手帳を持参していただき、記載内容から一週間の生活状況を一緒に確認していきます。リハビリテーションでは、準備体操を行ったのち、エルゴメーター（自転車こぎ）などの有酸素運動や下半身を中心とした筋トレを行い、最後は整理体操を行います。運動負荷試験を行ってからリハビリテーションを始めるため、安全に進めることができます。また、外来以外の日でも自宅で適切な運動を行ってもらえるよう、運動指導も行っています。そして、5か月の期間が終了した後も患者さん自身で運動を継続していただけるよう、運動の習慣化に繋げていきたいと考えています。

対象は、狭心症、急性心筋梗塞、心臓手術後といった心臓疾患と診断され、杖や歩行器などを使用せずに歩ける方で、週一回の通院が可能で、2次予防目的の心臓リハビリテーション外来を希望される方となります。ご興味のある方は、循環器内科医にご相談ください。

リレー
エッセイ

わたしの趣味

トライアスロン

血液内科部長 伊藤 俊郎



ドイツで参加した大会で撮影

旅行を兼ねてレースに参加するのが恒例となりましたが、2020年コロナ禍により現在までトライアスロンやマラソンなど、すべてのレースへの参加を控えています。早くコロナが終息することを願うばかりです。

トライアスロンは水泳(S)、自転車(B)、長距離走(R)の3種目を、この順番で連続して行う競技で、その距離はS1.5km、B40km、R10kmの「オリンピック・ディスタンス」から「アイアンマン・レース」といわれるS 3.8km、B180km、R42kmのロング・ディスタンス・レースまで様々な距離で争われます。自分が30歳になった頃、ダイエット目的にランニングを始め、いつのまにか耐久系スポーツにはまってきました。最初に参加したレースはオリンピック・ディスタンスでしたが、翌年にはロング・ディスタンスのレースに参加するようになり、その魅力にますます夢中になりました。夏休みを利用して家族と海外

記憶に残っているレースはデンマークの首都コペンハーゲンで行われたレースです。
自己ベストが出た大会なんですよ!!!

一番最初に出たレースは野尻湖の大会です。

編集
後記

暑い季節が過ぎ、肌寒い季節となりました。昼間の時間もだいぶ少なくなくなり、悲しいものです。

まだ新型コロナウイルス感染症が収まる気配がない中、最前線でコロナ対応をせっせとやってくれる医療従事者の方には頭が下がります。頑張っている医療従事者の方のためにも積極的に広報することや経営基盤の安定を図ることで、今後も地域に根ざした愛される病院であり続けられるよう精一杯がんばっていきましょう。

(T)

まつもと医療センター
第44号

令和3年10月発行

発行人 院長 小池 祥一郎

〒399-8701

長野県松本市村井町南2丁目20番30号

TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

<http://mmccenta.jp/>